

## 早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	藤後 英哲 (とうご えいてつ)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	修士課程 1 年
発表年月 または事業開催年月	2022 年 6 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	2022 年度 人工知能学会全国大会 (第 36 回)
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	藤後 英哲, 上垣 貴嗣, 清水 健吾, 菊池 英明
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	保育現場での実用に向けた テキストベースファシリテーション対話システムの開発
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p><b>【概要】</b></p> <p>近年、様々な社会的変化により、保育者のニーズが多様化してきている。加えて、合理的配慮や家族支援など、保育士へ期待されることが増加し、保育士の負担が高まっている。本研究では保育士のストレスの中でも、会議ストレスに着目し、ファシリテーションを行う対話システムを会議に参加させることを検討した。</p> <p>本研究では、開発したシステムを用いることで、会議において次話者が意見を言いやすくなること及び議論を活性化することを目的とした。提案システムにおいてシステムの行動は「話題振り」「確認」「具体例掘り下げ」とし、音声対話システムの前段階としてテキストベースで開発をおこなった。システムには BERT を使用した発話行為推定や KeyBERT を使用したキーフレーズ抽出を実装し、スロットフィリングを用いて対話管理を行うように設計した。</p> <p><b>【結果】</b></p> <p>評価実験の結果、「話題振り」と「確認」の行動においては、次の話者が意見を言いやすくなる可能性や議論を活性化させる可能性が示唆された。</p>	

※無断転載禁止